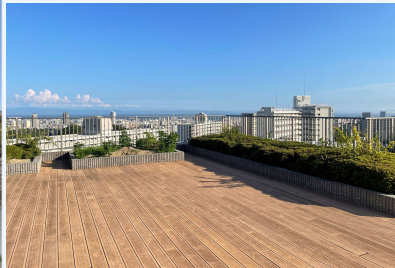
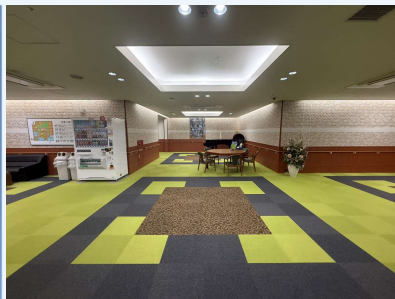


介護老人保健施設 ドリームヒルズ滝山

～ ICTと柔軟な働き方で、職員が安心して働ける職場へ～



法人名：医療法人社団 大有会

施設名：介護老人保健施設 ドリームヒルズ滝山

- ・サービス種別：介護老人保健施設
- ・所在地：神戸市兵庫区滝山町7番2号
- ・定員：100床
- ・職員数：84名（常勤63名・非常勤21名）

お問い合わせ先：078-579-4130

介護職員の働きやすい職場環境づくり
厚生労働大臣表彰 奨励賞（令和8年度受賞）

取組のポイント

① 職員の待遇改善に係る取組

年間休日108日→113日へ引き上げ。
有給取得を促進し、短時間正社員制度など個々の事情に応じた勤務体系を整備。

② 生産性向上の取組

見守りシステム（全床）、電子カルテ（PC、タブレット）インカム（ほのぼのVoice）、ナースコール、勤怠システムのクラウド化を段階的に導入し、記録・巡視・情報共有の負担を大幅に軽減。

③ 人材育成に係る取組

e-ラーニングとLINE WORKSを活用し、研修受講管理と職員間の情報共有を迅速化。ICTに不慣れな職員も反復支援で定着。ノーリフティングケアにも施設として取り組みをはじめ、職員が長く働けるよう職場づくりを行っています。

取組詳細① 職員の待遇改善に係る取組

○取組の概要

有給休暇を取得しやすい環境を整え、夏季休暇5日を新設。年間休日を108日から113日に引き上げました。育休復帰後の短時間正社員制度や、始業開始・終了時刻を個別に調整するなど、育児・介護と仕事を両立できる勤務体系を整備しています。残業、勤務変更、休日申請の電子化による承認網の迅速化を図り事務作業の簡略化。

○取組のポイント

- ・年間休日：108日 → 113日
- ・有給休暇平均取得：7日 → 13日／年
- ・平均残業時間：18時間 → 5時間／月
- ・短時間正社員：1人 → 2人



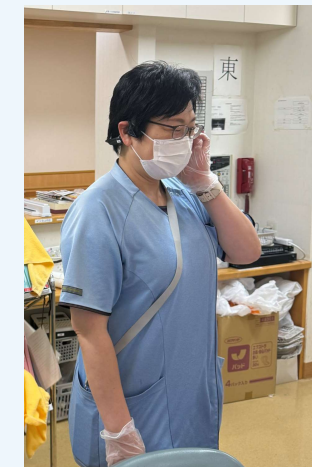
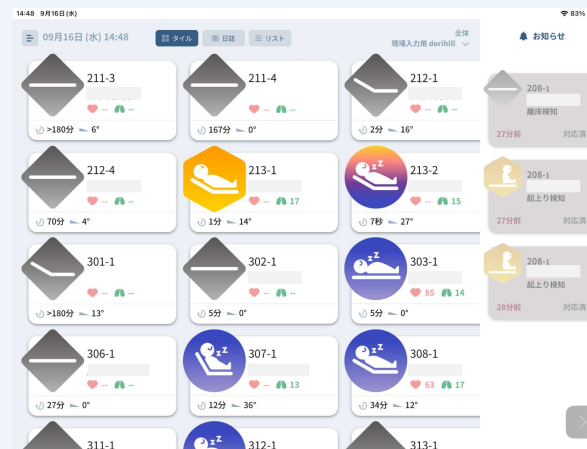
取組詳細② 生産性向上の取組

○取組の概要

全100床への見守りシステム・離床センサー、電子カルテ、ナースコール、インカム、ときKANRIを導入。紙中心だった業務を見直し、情報共有と記録、夜間業務の効率化を進めました。また現在AIを活用したシフト作成の自動化や送迎スケジュール自動化、各資料作成をAIを用いて負担軽減、直接業務の割合を増やすように整備。

○取組のポイント

- ・夜間定期巡視：6回 → 2回／日
- ・記録時間：1～2時間 → 15～30分／日
- ・勤怠承認：1～4週間 → 1日
- ・入浴介助：2人 → 1人

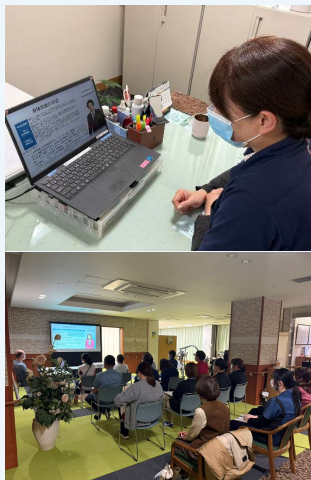


取組詳細③ 人材育成に係る取組

○取組の概要

施設内研修をe-ラーニング化し、場所や時間を選ばず受講できる環境と進捗管理を整備。さらにLINE WORKSを導入し、フロア・係ごとの情報共有やスケジュール管理を電子化しました。また定年まで元気に職員が働けるようにノーリフティングケアの取り組みを実施しており、リフト/ボードを全職員が使用できるように勉強会等を実施。○**取組のポイント**

- ・ 研修受講漏れ：5～10名 → 0名
- ・ 研修等の通知：数日 → 即日
- ・ 社内案内の通達：数週間 → 即日
- ・ 業務漏れ：約15件／週 → 0件



Episode 取組を始めたきっかけ

当時の事務長（現在は法人本部長）が就任後、紙中心の業務、古いパソコン、フロア間の連携不足、研修情報の伝達漏れなど、現場の課題を把握しました。今後ICTが医療・介護に広がることを見据え、生産性向上委員会等で課題を整理し、職員の労働環境改善を目的に取組を開始しました。

取組を進めるにあたって苦労したこと

ICT機器に不慣れな職員から不安や抵抗の声があり、機器・ソフトの定着に時間を要しました。独自の運用マニュアルを作成し、全職員向けセミナーを複数回実施。運用開始後もすぐ質問できる体制を整え、実践形式で反復して支援しました。慣れた職員が他の職員へ教える好循環も生まれています。

取組の成果・効果

取組全体で、1人あたりの平均残業時間は月18時間から5時間へ減少し、有給休暇の平均取得日数は年7日から13日に増加しました。夜間巡視や記録、勤怠処理などの時間も短縮。職員から改善提案が出るようになり、ミスを恐れる職場から、予防・改善を話し合える職場へと変化しています。

職員の声

ICT導入当初は操作への不安もありましたが、すぐに質問できる環境や繰り返しの説明があり、徐々に慣れることができました。情報共有が早くなり、記録や確認にかかる時間も減っています。休暇も取得しやすくなり、仕事と生活の両立を意識しながら働ける職場になったと感じています。

Message 施設から、これから取り組まれる皆様へ

これからの介護業界では、現在取り組んでいる事が当たり前前の時代になってくると想定されます。焦りながらの機器選定や導入スケジュールはミスや運用に影響が出てくるため、先行の導入、職員の育成が今後の施設内をより働きやすい職場とする為にかかせない動きとなってくると思います。変化は、一度にすべてを変えるのではなく、前もって現場の困りごとを一つずつ拾い、職員と一緒に改善を積み重ねることから始まります。新しい仕組みへの不安にも丁寧に向き合い、誰もが安心して働ける環境を整えることが、働きやすい職場づくりにつながると考えています。